

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 会計課
 担当名: 予算係
 内線: 2236

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
P24	大規模災害対策の推進		一般会計	警察費	警察管理費	警察施設費	警察施設整備費	
事業期間	平成18年度～	根拠法令	警察法、建築基準法		針路分野施策	01 災害・危機に強い埼玉の構築 0101 危機管理・防災体制の再構築	SDGsゴール 16 SDGsターゲット 16-6	16 16-6
1 事業概要 東日本大震災を機に県民の防災意識はこれまで以上に高くなっている。 大規模災害時に防災拠点となる警察施設の機能強化及び災害に強い体制の整備を継続的に進め、県民の期待に応える。 ア 非常用発動発電機整備等経費 △440千円 イ 警察施設の浸水対策経費 △5,753千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 非常用発動発電機整備等経費 (ア) 非常用発動発電機整備等経費(上尾警察署(350KVA)) イ 警察施設の浸水対策経費 (イ) 警察施設の電気設備等に係る浸水対策(大宮西警察署、加須警察署、川口警察署、草加警察署、鹿手袋分庁舎、交通機動隊、上尾分庁舎) (2) 事業計画 ア 非常用発動発電機整備等経費 (ア) 令和7年度 上尾警察署(350KVA) (イ) 令和8年度 鹿手袋分庁舎(30KVA) イ 警察施設の浸水対策経費(令和7年度で事業完了) (イ) 令和7年度 大宮西警察署、加須警察署、川口警察署、草加警察署、鹿手袋分庁舎、交通機動隊、上尾分庁舎 (3) 事業効果 大規模災害や自然災害等により商用電力等の供給がされない場合、復旧までの時間を想定した能力(約72時間)を備えた大型非常用発動発電機等を整備し、浸水対策を講じることで、防災拠点の機能維持を可能とする。 【活動指標(アウトプット)】 発発の更新1か所、浸水対策の実施7か所 【成果指標(アウトカム)】 災害時における警察施設の電力確保(72時間)、浸水時における警察施設の維持 (4) 補正予算の概要 契約差金による減額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 緊急防災・減災事業債 充当率100% 交付税措置70%								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.7人=16,150千円								
予算額			財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
			県 債					
決定額	△6,193	△6,000					△193	288,859
現計額	295,052	294,000					1,052	

事業内訳書

事業名	大規模災害対策の推進		
単位事業名	非常用発動発電機整備等経費	予算額	△ 440千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△440	—	
合計	△440	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△440	—	契約差金が生じたことによる設計委託の減
合計	△440	—	

単位事業名	警察施設の浸水対策経費	予算額	△ 5,753千円
-------	-------------	-----	-----------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・警察債	△6,000	—	警察署庁舎建設事業債
一般財源	247	—	
合計	△5,753	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△5,753	—	契約差金が生じたことによる設計委託の減
合計	△5,753	—	